



研究テーマ

健康な高齢化に関する ナレッジ・トランスレーション： 日本老年学的評価研究 (JAGES)

研究者名・所属

主導研究者：近藤克則教授
国立長寿医療研究センター

● 研究概要

このプロジェクトでは、高齢者の健康と健康格差に影響を与える決定要因に関する科学的エビデンス創出のための戦略と、そこから得られる科学的知見を実際の政策や事業に活用するための戦略を明らかにします。具体的には、国内最大規模の高齢者調査である日本老年学的評価研究 (JAGES) プロジェクトに着目し、JAGESがこれまでに実施した健康と高齢化に関する社会疫学的研究において有用なツールや戦略、そして、科学的知見が健康な高齢化に関する国や地方自治体の取り組みに反映されるために必要なツールや戦略について検討していきます。

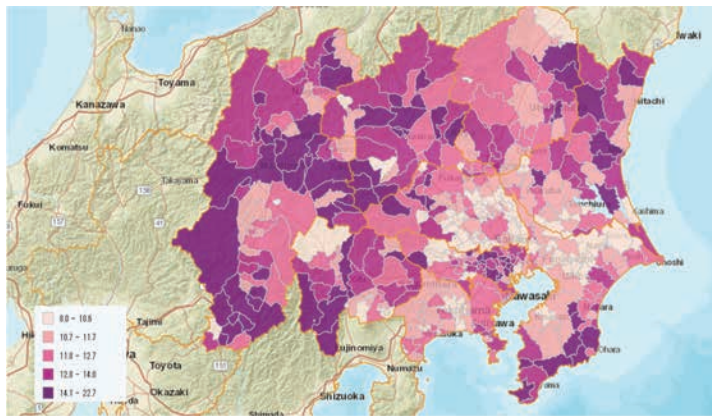
また、海外でもこれらのツールや戦略が活用できるようにJAGESの研究手法を取りまとめて、健康な高齢化を推進する効果的で公平な公衆衛生的・社会的介入策に関する手引き書を作成します。そして、研究者が政府・政策関係者に研究知見を効果的に提示し、伝える手法についても触れ、プロセスの実践例も紹介します。

● 背景・目的

JAGESは社会疫学的手法を用いて、高齢者の健康問題および健康格差の原因追究を進めています。特に、研究とナレッジ・トランスレーション (知見を政策や事業に活用させること) の双方を国や地方自治体と連携、協働して進めるJAGESの戦略的アプローチは広く評価されています。本プロジェクトはこれまでに蓄積されたJAGESの科学的知見を統合的に整理し、それらの効果的な活用方法と合わせて世界に発信していきます。

研究骨子

- ① どのようにJAGESが行政機関と連携しながら、系統的にデータを収集し、大規模調査を実施してきたのかを明文化する。
- ② これまでに蓄積されたJAGESの科学的知見を統合的に整理する。
- ③ 科学的知見を自治体や国の政策に活かすフィードバック方法を示す。(具体的には、各自治体で得られたエビデンスを「見える化」するツールJAGES HEART (健康の公平性評価と対応ツール) の活用方法など)
- ④ 神戸市 (兵庫県)、松戸市 (千葉県)、武豊町 (愛知県) など、これまでにJAGES調査に参加し、調査から得られた知見が活用されている自治体への聞き取り調査を実施する。



JAGESが作成したデータマップ例: 要介護認定を受けた高齢者 (65歳以上) の分布 (関東地方市町村別)

出典: <http://www.doctoral.co.jp/WebAtlas/201112WebAtlas/kanto/atlas.html>

プロジェクトチーム

リサーチ主導施設：国立長寿医療研究センター (NCGG)

国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学
評価研究部長、千葉大学予防医学センター教授

近藤 克則 教授 (主導研究員)

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之 教授

東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野、健康教育・社会
学分野主任 近藤 尚己 准教授

東北大学大学院歯学研究科 国際歯科保健学分野 相田 潤准 教授

日本福祉大学 斉藤 雅茂 准教授

WHO神戸センター ローゼンバーグ 恵美 技官

● ポイント

JAGESにおいて蓄積された社会疫学的知見の整理

政策へのナレッジ・トランスレーションの実例収集

測定評価、研究とナレッジ・トランスレーションを促進するための戦略分析

専門家コンサルテーションを通じて世界に向けた発信力の強化

成果物の幅広い配信

● スケジュール

2017年5月 プロジェクト開始

2017年11月 草案作成

2017年12月 外部レビュー・コンサルテーション

2018年5月 プロジェクト完了

● 予算

US\$ 90,000